



温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年5月11日

株式会社カカコム 様

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 平川 雅宏



1. 検証の対象及び目的

株式会社カカコム（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{*1}における排出量算定結果「2021年度 GHG 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2021年4月1日から2022年3月31日までの以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 温室効果ガス排出量

算定対象において使用された都市ガス、及び、車両が使用したガソリンに伴って直接的に排出される CO₂ 排出量

2) スコープ2 温室効果ガス排出量

算定対象において電力の使用に伴って間接的に排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、算定方法^{*2}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

| 検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e) | |
|--------------------------------------|-------|
| スコープ 1 | 5 |
| スコープ 2 ^{※3} (ロケーション基準) | 1,424 |
| スコープ 2 ^{※3} (マーケット基準) | 1,402 |

NOTE:

※1：算定対象：事業所 8 拠点、所有施設 1 拠点、データセンター

※2：スコープ 1, 2 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.4)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.2)」、及び、事業者が作成した「2021 年度 GHG 排出量算定手順書」

※3：電力の排出係数：電気事業者別調整後排出係数を使用

以上